

---

**転生して魔戒騎士になりました。**

SHOW

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

転生して魔戒騎士になりました。

### 【Nコード】

N3453Y

### 【作者名】

SHOW

### 【あらすじ】

すさまじい死に様をした主人公に思わず手を差し伸べた神により魔戒騎士になったオリ主がいろんな世界に行く話です。

現在恋姫編

転生・・・してない？(前書き)

前の消して再構成しました

転生・・・してない？

ん？どこだここ？なんで波の音が？てか何で俺寝ころんでんだ？

「目え覚めた？」

声のほうに首を向けると金髪碧眼のシヨタツ子が。誰だこの子？

「まあ所謂神というやつさ。この姿は気に入っているから」

あー、二次小説の。心を読むのってデフォなんだ。

「結構すごい死に方してたから思わず手を出しちゃってね」

ペロツと舌を出して言うことかそれ？どんなふうに死んだん？俺？

「えーつとね・・・ホモで死体マニアの変態に絞め殺されて（アツ  
ー！！）された後に冷凍保存されてただけど、とりあえず匿名で  
警察に情報流して親元に身体は返しといたから」

ちよー！！

「とりあえず君は僕が干渉したことてただの魂じゃなくなっちゃっ  
たんだ」

え？どゆこと？

「君は僕の直轄の騎士になってもらうよ！！もちろんただの騎士じ  
ゃない、魔戒騎士さー！！」

話を聞けよおい!!

「というわけで修行としてまずは修羅道におっこってもらって戦う力を養ってきてもらおうよ」

ねえ、なんなの？無視しないで。ていうか修羅道ってやばいんじゃない

「じゃ、がんばってね。答えは聞いてない!!」

ちよつと待て!!っつわああああああ!!何で穴が開いた!!

「何なんだもおおおおおおおお(泣)」

そう叫びながら俺は墜ちて逝った。

「さて、修羅道から出てきたらヴァルハラで英霊たちと組み手させて閻魔と不動明王に稽古つけさせよつと」

転生・・・してない？（後書き）

さて、何処に飛ばそう？

人物紹介・・・？（前書き）

「やあ読者の皆さん、神だよ。今回は主人公の紹介だ。正直分かりずらいかもしれないけどね」

## 人物紹介・・・？

名前：篠崎 悠一（しのぎき はるか）

愛称：ユウまたはハル

性別：男

容姿：アガレスト戦記2のヴァイス

CV：佐藤拓也

身長：187cm

体重：71kg

性格：落ち着いた性格だが博打好きで人当たりは良い

スペック

身体能力：最大ジャンプで成層圏まで跳ぶ程度

生活力：自活できる程度

脳力：某一方通行の数倍の演算ができる程度

魔力とかそつち系：必要に応じて付与。ただし正直やってられないレベル



運：ア　ギの数百倍。ただし金運と勝負運に限る

格闘：スーパースト？の参戦キャラ全員（ダルとセス除く）の技を  
会得

剣技：勝てる気がしない。バグ過ぎて

銃技：帰りたくなる。バグ過ぎて

攻撃力：パンチで太陽系が吹っ飛ぶ

防御力：平和島　雄く悠く鎧装備悠

素早さ：音く悠くスピードブースター悠く轟天

その他スキル

魔戒騎士の技能全て、サ　スの能力全て、ステルスダッシュ、瞬間  
回復、房中術？おい

装備：魔戒剣一（鋼牙と同じの）、悪食、2丁ジャッカル（色は金  
と銀）

因みに耐久性は悠でも壊せないくらい

服装：アガレスト戦記2のヴァイス参照

持ち物：収納袋一（四次元）、金塊5000t、銀塊8000t、  
各種宝石20000tずつ、魔導火ライター（魔導火無限）、着替  
え3着、水着、ビーフジャーキー、

生前：それなりに裕福な家に生まれ、不自由なくオタライフを満喫し、人望もあつたが、死因はシヨタ神が言った通り。

現在：修行中の身だが、女神やヴァルキリーに貞操を狙われ、男の娘な天使に引っ付かれる日々を送る。因みに死後にも肉体を与えられているので、実際には転生ではなく、某龍球の 空の様な状態

人物紹介・・・？（後書き）

「因みに僕の名前も募集中だ。感想もよろしく頼むよ」

異世界転・送？（前書き）

ルレットで決めたらこんな事に

異世界転．．送？

あれから何年経ったろうか？今や立派にチートパワーを使いこなし、あのシヨタ神の専属魔戒騎士として日々お仕事をこなしている。

今は神兵隊の新兵の訓練だ。

「いいか貴様ら！！俺が貴様ら悪魔の糞の塊を鍛えあげるハルカ軍曹である！！口から糞を垂れる前に頭とケツにsirを付ける！！解ったか！！」

「sir yes sir！！」

ん？何？性格の割にキツイことを言う？この位しなきゃ訓練にならない。

「まずはこのヴァルハラをマラソンだ！！解ったか糞共！！」

「sir yes sir！！」

因みに一周約16kmだ。あとヴァルハラに居た英霊達は皆どう見てもFateのサーヴァントの皆様です。あといろんなゲームの英雄達が勢揃いだ。BIG BOSSとか本気でビビった。

「ゼウスの息子はシャイボーイ」

「ゼウスの息子はシャイボーイ」





．．．大河さんから認められ《牙狼》を襲名した時に託された。大河さんはスパイダと楽しく手合わせしてるんだが。

まあ、そんなこんなで到着だ。次も転生者狩りか？地獄で暴れてるボケ共の鎮圧か？1回銃剣神父と殺りあった時は正直キツかったから勘弁して欲しいし、異界の連中はSDKの仕事だしな。最近じゃ魔法少女を救う為に概念化した奴も居たっけ？

『何ぼさつとしてんだ？』

つと、いかんいかん。

「邪魔すんぞ〜」

「やあ来てくれたか。まあ、座ってくれ」

促されソファーに座る。俺のよりふかふかなのがムカつく。

「で、用件は？」

「そろそろ君を娑婆に戻しても良い頃かと思ってね」

は？どういふ事だ？

俺の魂はこいつが干渉した事でもはや人のそれでなくなり、”世界”から拒絶される筈なんだが。

「と、言つのも今回の仕事がいづもと勝手が違ってね、娑婆に潜り込んだ厄介な奴を討伐して欲しい」



そうやって赤い封筒を俺に投げ渡す。何も言わずに魔導火でそれを炙ると一瞬で燃え尽き、空中に魔導文字が浮かぶ。

「外史の世界に潜り込んだ最凶の吸血鬼”雅”<sup>みやび</sup>とこれを招きし道士”左慈”及び”于吉”を討て。．．この雅って奴は？」

「かつて”彼岸島”を支配した吸血鬼だ。こいつの血液は人間を吸血鬼に変えるウイルスが充満している。咬まれたら強烈な麻酔作用で体液を垂れ流しながら動けなくなる」

『おまけにこいつ、不死身みたいだな』

「幸い、不死身の身体と脳波干渉、身体能力以外は弱体化しているみたいだね。吸血鬼化もこいつの血液以外では起こらない」

『蚊を使った大量吸血鬼化計画も無い訳だ。脳波支配も邪鬼<sup>オニ</sup>だけ、つーか吸血鬼も邪鬼と亡者以外に変態しねーみてえだしな』

「こいつが行動を起こすのはいつになるか分からない。弱体化も管理者の尽力と”世界”からの強力な拒絶反応故だ。既に五胡の軍勢の4割は吸血鬼化しているが、血液の量にも限界があるからかな？活動はしていないけどいくつかの邑は吸血鬼が入り込んでる」

「そいつ等の殲滅と雅の討伐が仕事か。不死身をどう殺すんだ？」

「今回は《悪食》の使用を許可する。あいつの魄を食いつくせば死ぬんじゃない？」

『魔導火で燃やし尽くせ』

「つたく．．．、銃は？」

「無限に撃てる様にしとくよ。殺意の波動も解放、鎧は相変わらずだけど」

「十分だ。で、管理者は無事なのか？」

「貴方みたくない男に心配されるなんて、苦労したかいがあったわ〜ん」

声の方を見るとビキニパンツ一丁のマツシブなおっさんが。

「だ〜れが微笑めば鏡が割れるくらい物理的にキモいオカマですつてええええええ！！？」

「言っつてねえ。つか、生理的に無理」

「彼．．．？彼女．．．？まあいいか。それが管理者の貂？だ」

はあ。こいつが

「もうあれ以上の干渉は無理ね。ご主人様も外史に入ってこれないみたいだし」

ご主人様？

「本来外史に赴く筈の男の子さ。幸いと言えば幸いかな？」

そうか、ま、只の人間には荷が重いしな。

「私の管理する外史が荒らされるのは胸が痛むわ。たとえ外史でもあの世界の人間は皆懸命に生きているのよ。それをこんな形で．．．

「  
拳から血が滴るほど握り締め、悔しさを露わにする貂？。こいついい奴だ。いや、漢だ。」

それに答えはハナから決まってる。

「じゃあ行くか。貂？、1つ聞く。俺と言う存在が外史に及ぼす影響は？」

「銃はいただけないけど、特に問題点はないわん」

そうか、と一言返し門に向かう。

「人を守る”守りし者”。そこに人を脅かす者がいれば狩るだけだ。待ってるよ雅。その不死身の身体をブツ殺してやつからよお。」

「じゃあ頑張ってきてね。仕事が終わったら御褒美用意しとくから  
( ^ \_ ^ ) . . . 「

門まで見送りに来た神がウインクしながらのたまう。

「期待はしないでおく」

そう神に告げ、開いていく門の中に、俺は神に向かい合った状態で後ろに倒れ込む様にして落ちる。

さあ、狩りの始まりだー！

異世界転．．送？（後書き）

人生ゲームのルーレットで出た数字の世界にしようとしたら、丁度恋姫と彼岸島の間になったのでこうなりました。

それじゃザルバ、予告よろしく

『辿り着いた場所は見渡す限りの荒野。外史に降り立った俺達は3人の少女と出会う。次回からサブタイトルは漢字2文字だ！！次回！！「桃園」！！出来れば感想もくれよ』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3453y/>

---

転生して魔戒騎士になりました。

2011年11月20日17時00分発行